

音響試験装置

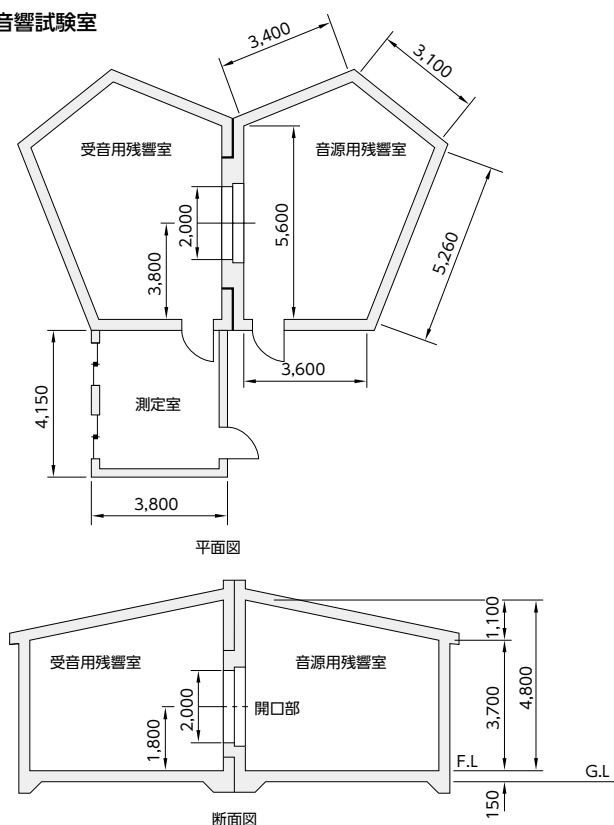


板ガラスをはじめとするいろいろな建築材料の遮音性能の測定や高い遮音性能を有する開口部の研究開発のために、弊社では音響試験装置を設置しています。この音響試験装置によって得られた音響特性データは新しい壁構造などを考える場合に役立ち、建築物の遮音設計における重要な基礎となるものです。試験装置は音源用残響室と受音用残響室を用いたいわゆる「残響室—残響室法」によるもので、この試験装置の性能特性はJIS A 1416「実験室における空気音遮断性能の測定方法」のタイプ I の試験室の規定を満足しています。透過損失の測定は、音源用残響室からスピーカーで音を発し、開口部に取り付けた供試体を透過してくる音を受音用残響室で受け、両室の音のエネルギーの差から求めるようになっています。

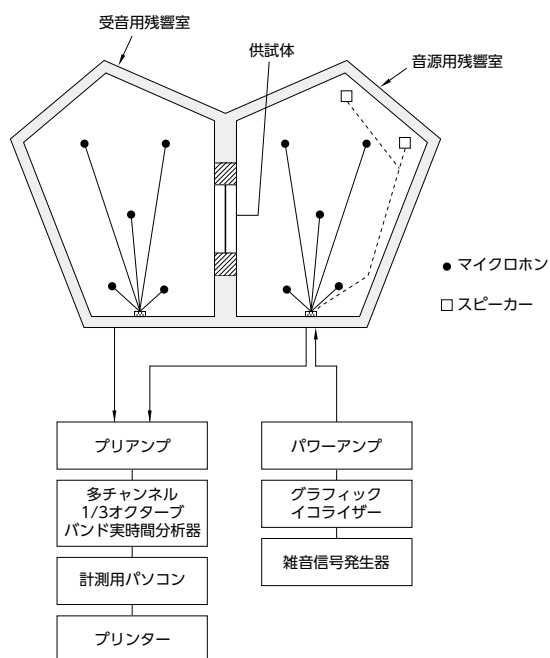
残響室の仕様 (片側)

室内壁表面積 (m ²)	153
床面積 (m ²)	29
室内容積 (m ³)	125
コンクリート壁厚 (cm)	20
室内形状	不整五角形、天井傾斜
供試体寸法 (mm)	H1,480×W1,230

音響試験室



透過損失測定のプロックダイアグラム



防火・耐火試験装置

社会のニーズの多様化にともない、安全性、省エネ性、装飾性など新しい機能をもった製品が次々と開発され、これら新建材の防火・耐火性能の確認が必要となります。

この装置は、建築基準法に基づいて行う建築構造部分等の防火または耐火の性能を試験するために使われるものです。

熱源は天然ガスで、炉内温度の調整はバーナー点火より昇温まであらかじめ設定した温度曲線により、自動運転できる機構となっています。

試験装置の仕様と性能

加熱寸法(mm)	W3,300×H3,300
燃焼装置	フラットフレームバーナー 16基
熱源	燃焼用バーナー LNG (天然ガス)
加熱温度	最高 1,100℃

